

公表日

令和 4年 8月26日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	番匠川水系リスクマップ作成業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所長 石橋 賢一 大分県佐伯市長島町4-14-14
契約年月日	令和 4年 8月26日
契約業者名	九州建設コンサルタント(株)
契約業者の住所	大分県大分市大字曲936-1
契約金額	39,996,000円(税込み)
予定価格	39,996,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	番匠川水系
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年 8月27日
履行期間(至)	令和 5年 3月15日
備考	入札情報サービス(PPI) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契約理由書

1. 業務件名 番匠川水系リスクマップ作成業務
2. 履行場所 番匠川水系
3. 契約の相手方 住 所：大分県大分市大字曲936番地1
会社名：九州建設コンサルタント株式会社
電 話：097-569-9595
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、番匠川水系において従来の浸水想定区域図に使用している想定最大規模より頻度の高い降雨による氾濫を想定した浸水深や浸水範囲について解析を実施し、降雨規模毎の浸水深を示す「多段階の浸水想定図」及び場所毎の浸水頻度を示す「水害リスクマップ」について検討を行う業務である。

2) 業務の内容

本業務は、以下のとおり行うものである。

- | | |
|------------------|----|
| ・計画準備 | 1式 |
| ・資料収集整理 | 1式 |
| ・現地踏査 | 1式 |
| ・浸水解析モデルの検討 | 1式 |
| ・浸水解析モデルの検証 | 1式 |
| ・与条件とする降雨シナリオの検討 | 1式 |
| ・浸水解析の実施 | 1式 |
| ・多段階の浸水想定図の作成 | 1式 |
| ・水害リスクマップの作成 | 1式 |
| ・報告書作成 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に、評価テーマの「番匠川水系の特性を踏まえた内水外水一体のリスクマップを作成する上での留意点および具体的な実施手法について」に対する技術提案について、「的確性」の地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高く、必要な内容が適切に網羅されて、優れていること。及び「実現性」の提案内容を裏付ける業務実績及びその内容が明示され、提案内容に説得力があり、優れていることから、本業務を遂行するにあたっての有効性について、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

佐伯河川国道事務所 調査課長